










支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	

起 票 日 令和 7年 9月 8日 所 属 080100 市議会事務局

年度 令和 7 年度 会計 01 一般会計 予算区分 0 現年度

科 目	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	18 負担金、補助及び交付金
	細 節	90 その他
	細々節	06 政務活動費


金額	13,380円	控除	所得 税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	7回		雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	900,000円		その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	314,201円	請求書番号	控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	585,799円				
源泉支払内容	*****				

件名 10/9~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議参加負担金及び振込手数料

摘要 丸山議員

債 権 者 等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 9月17日
	住所			
	名称	公明党代表者 村岡 均		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債権者番号	

領 住 所
収 氏 名 公明党代表者 村岡 均

領 収 印 

上記の金額を領収しました。令和7年 9月17日

支払済

令和 年 月 日 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為
確認











001  負担行為番号 07-000298

伝票番号 呼出番号
07-009618

整理番号 00702785
07-000005-07



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	主査	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年9月4日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 村岡均 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	13,380円		
内 訳	10/9～10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議 参加負担金(13,000円×1名分) 及び振込手数料		
支払先	(株)JTB		
予算科目	研究研修費	交付残額	585,799円
使用者名	丸山 直土		

だいしんキャッシュサービス
ご利用明細票

本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お取扱日		取扱金庫・店番・通番			
07 09 17		16300744-0579			
お取引店		口座番号			
お取引金種	万円 1	5千円 0	千円 3	500円 0	100円 3
お取引内容	振込		2千円 0	100円 3	50円 0
手数料	¥380	ページ	お取引金額		
時刻	13:34	¥13,000*			
説明コード	お取引後残高				

お受取人

銀行
支店

ご依頼人

イスミオオツシキカイ マルヤマ ナオト
様 0725-33-1131

印紙税申告納
付
税務署承認済

大阪信用金庫

開 催 要 領

1. 主催者

【主催】 全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、宇都宮市

【協賛】 (公財)全国市長会館

2. 開催日時・会議の内容(日程 4ページ、講師略歴 5、6ページ)

【第1日】 令和7年10月 9日(木) 9:30 開会 (受付開始 8:30)
基調講演、主報告、一般報告

【第2日】 令和7年10月10日(金) 9:30 開会 (開 場 8:30)
パネルディスカッション、行政視察(事前申込者のみ・有料)

3. 開催場所(会場アクセス 7ページ)

ライトキューブ宇都宮

〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20 TEL:028-611-5522

4. 議題(議題解説 8ページ)

「成熟社会の都市のかたち ～コンパクトで持続可能なまちづくり～」

5. 会議参加費

1名につき 13,000円

※ 1日目の昼食弁当代、会議配布資料代等を含みます。

※ 会議参加費は、事務局に代わり運營業務委託会社である株式会社JTBが代行収受します。

※ 9月20日(土)以降に参加を取消された場合は、会議参加費の返金はできません。

※ 悪天候や感染症の影響等により、会議の開催を中止又は開催内容を変更する場合があります。また、その場合も、会議参加費を返金できないことがあります。

※ 会議参加費の領収証は、会議当日にお一人様1枚ずつお渡します。

6. 会議の参加・宿泊のお申込み(参加申込方法 14ページ、宿泊のご案内 21ページ)

下記の期間にWEB申込みにより受付します。14ページの申込方法を確認ください。

【申込開始日】 令和7年7月28日(月) 10:00 から

【申込締切日】 令和7年8月 8日(金) 17:00 必着

【結果公開日】 令和7年8月22日(金) 13:00









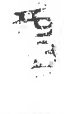
※ 申込者が定員(1,800名予定)を超えた場合は抽選を行います。

(抽選対象者:市区議会議員(議長及びその随行者は除く)及び議会事務局職員)

※ 随行者についても参加申込みが必要です。

※ 庁内LANのセキュリティ等の関係で参加申込専用ページにアクセスできない方に限り、メールでの受付を行います。(回答は5営業日以内にメールにて行います)

支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 	入力 	財政課合議 **	検収者	


起票日	令和 7年 9月 19日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 7 年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	55,960 円	控除	所得 税 0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	8 回		雇用保険料 0 円	源泉徴収確認
負担行為額	900,000 円		その他 0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	370,161 円		控除額合計 0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	529,839 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名	10/9~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議参加旅費
----	-------------------------------------

摘要	丸山議員
----	------

債権者等	支払方法 21 現金払	支払希望日 令和7年 10月 - 7日
	住所	
	名称 公明党代表者 村岡 均	
	役職等/氏名	
	銀行/口座	
	口座名義人	債権者番号

領収	住所	領収印 
	氏名 公明党代表者 村岡 均	

上記の金額を領収しました。 令和7年 10月 - 7日

支払済









令和 7 年 月 日 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認


001 負担行為番号 07-000298
 伝票番号 07-010366
 整理番号 07-000005-08
 呼出番号 00704919



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	主査	係員
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和7年9月19日

泉大津市長
南出賢一様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 公明党
代表者名 村岡均 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	55,960円		
内 訳	10/9~10/10 栃木県宇都宮市 第87回全国都市問題会議参加旅費		
支払先	丸山 直土		
予算科目	旅費	交付残額	529,839円
使用者名	丸山 直土		

令和7年度

出張申請書

(出張)

会派名	公明党		氏名	丸山 直土				
出発・帰庁年月日		出発 令和7年10月9日		帰庁 令和7年10月10日				
出張先(順路) ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)								
目的及び用件 第87回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) なんば	km	円 490	円	円	円	円	円	円
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		290						290
" (東海道新幹線) 東京	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810					5,810
" (東北新幹線) 宇都宮	665.9 109.5	(往復割引) 9,000	特急料金 (やまびこ) 3,040	閑散期 △ 200	1泊 15,000	2日 3,500		30,340
" (線) 東京	109.5		特急料金 (やまびこ) 3,040	繁忙期 200				3,240
" (線) 新大阪	556.4 665.9	(往復割引) 9,000	特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				15,010
" (線) 復路		780						780
" (線)								
" (線)								
" (線)								
" (線)							計	55,960
" (線)								

主管課用

10月9日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の規定により支給しない。









令和7年度

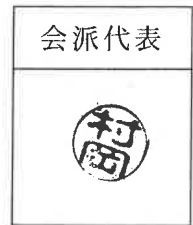
領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	公明党		氏名	丸山 直土				
出発・帰庁年月日		出発 令和7年10月9日		帰庁 令和7年10月10日				
出張先(順路) ライトキューブ宇都宮(栃木県宇都宮市宮みらい1-20)								
目的及び用件 第87回全国都市問題会議に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) なんば	km	円	円	円	円	円	円	円
		490						490
" (大阪メトロ御堂筋線) 新大阪		290						290
" (東海道新幹線) 東京	556.4		特急料金 (のぞみ) 5,810					5,810
" (東北新幹線) 宇都宮	665.9 109.5	(往復割引) 9,000	特急料金 (やまびこ) 3,040	閑散期 △ 200	1泊 15,000	2日 3,500		30,340
" (線) 東京	109.5		特急料金 (やまびこ) 3,040	繁忙期 200				3,240
" (線) 新大阪	556.4 665.9	(往復割引) 9,000	特急料金 (のぞみ) 5,810	繁忙期 200				15,010
" (線) 復路		780						780
(線)								
(線)								
(線)								
(線)							計	55,960
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 55,960			
令和 年 月 日				職名	公明党			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	丸山 直土  印			

□決 裁 ■供 覧


受発記号・番号				收受年月日	令和7年11月5日			
差出名		丸山 直土						
あて名		泉大津市議会議長				提出期限		
收受文書の記号				收受文書の日付	令和7年11月5日			
件名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合
								
主管	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長		主査		係員		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：令和7年10月9日（木）～令和7年10月10日（金）</p> <p>出張先：栃木県宇都宮市 ライトキューブ宇都宮</p> <p>目 的：第87回全国都市問題会議に参加</p>								



報 告 書

令和 7 年 11 月 5 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 公 明 党
出張者氏名 丸 山 直 土 

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 令和 7 年 10 月 9 日 (木) ~ 10 月 10 日 (金)
2. 出張先 栃木県宇都宮市
ライトキューブ宇都宮
3. 目 的 第 87 回全国都市問題会議
4. 報告事項 別紙添付

【 第 1 日 目 】

10月9日(木) AM9:30～開会式

- ① 9:50～ 基調講演「人口減少・成熟時代の都市とまちづくり」
京都大学名誉教授 広井 良典氏
- ② 10:50～ 主報告「人口減少社会に対応する都市の構造改革」
栃木県宇都宮市長 佐藤 栄一氏
- ③ 13:10～ 一般報告「『縮充』発想における公共施設マネジメント」
東洋大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナー 南 学氏
- ④ 14:30～ 一般報告「都市縮小時代の持続可能なまちづくり」
香川県高松市長 大西 秀人氏
- ⑤ 15:30～ 一般報告「次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり」
早稲田大学理工学術院教授 森本 章倫氏

【 概 要 】

京都大学の広井教授の基調講演では、中心市街地再生と商店街の復権、AIを活用した未来シミュレーション、「多極集中」の国土ビジョンの講演があり、続いて宇都宮市の佐藤市長からは、宇都宮市は、関東平野北端の豊かな自然と交通の要衝として発展してきた。市制施行以来、周辺町村との合併を経て現在の市域を形成し、経済・文化・医療など多様な都市機能を有する北関東の中核都市である。しかし、人口増加による郊外化の進行で中心市街地の活力低下や空き地の増加が課題となった。これに対応するため、市は「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）」を基本方針に掲げ、都市機能の集約と交通ネットワーク強化を推進している。その象徴が令和五年に開業した次世代型路面電車「ライトライン」であり、再生可能エネルギーで運行する全国初の新線LRTとして注目されている。利用者は二年で一千万人を超え、環境負荷軽減と地域活性化に寄与した。さらに、JR宇都宮駅東口の再開発や沿線拠点整備が進み、「人中心のウォークブルなまちづくり」が進展中である。NCCの取組は、持続可能な都市モデルとして全国的に注目されているとの示唆に富んだ講演を聞かせて頂いた。それから南学氏の『縮充』の講演や、香川県の大西高松市長、早稲田大学の森本教授の持続可能なまちづくりの講演と現代の課題である人口減少に伴う様々な取組を聞かせて頂いた。

【 所 見 】

いま日本の各地に増加している、“シャッター通り”から始まった、京都大学の広井教授の基調講演の中で「デジタルはあくまで手段であり、ツールである」との言葉がありました。この言葉はこれからのデジタル時代に非常に大事な言葉だと感じました。今現在、子どもから大人までが活用する、生成AIが日常生活の細部まで浸透している中、目的と手段を取り違えないように心がけていきたいと思えます。

また、一番印象的だったのが、佐藤宇都宮市長が紹介されていた、次世代型路面電車のライトラインです。令和五年八月に開業いたしました「ライトライン」は、宇都宮市の新たな交通の骨格として、まさに本市の未来を切り開く事業となりました。全国初の全線新設による新世代型LRTであり、再生可能エネルギーのみで運行するゼロカーボントランスポートとして、全国的にも高い評価を受けております。

開業から二年余りで利用者数は一千万人を突破し、予想を上回る速さで市民の足として定着しました。沿線の交通量は減少し、環境負荷の軽減に加え、中心市街地や駅東口エリアのにぎわい創出にも大きく寄与しております。

また、ライトラインの整備は単なる交通インフラ整備にとどまらず、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた核として機能しつつあります。今後予定されている西側延伸や周辺開発を通じ、「車中心のまち」から「人中心のまち」への転換が一層進むことが期待されます。

宇都宮市の挑戦は全国的にも注目を集めており、本市としても今後調査研究していくべきだと考えます。

【 第 2 日 目 】

10月10日(金)

⑥ AM9:30～ パネルディスカッション【テーマ】「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり」

コーディネーター 埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授 内田奈芳美氏
パネリスト 株式会社HD代表取締役グループCEO(兼)

関東自動車株式会社代表取締役社長 吉田 元氏
まちなか広場研究所主宰 山下 裕子氏
北海道室蘭市企画財政部長 (市長の代理登壇)
高橋 知規氏

⑦ AM11:50～ 閉会式

【 概 要 】

テーマに沿って、内田コーディネーターからは、まちなかの「パブリックライフ」の再考、パネリストの吉田氏は、成熟社会における公共交通ネットワークの進化と持続可能性への挑戦、同じく山下主宰からは、「いくつになっても」「出かけていけ」「出かけたがたい」都市について思考する。高橋室蘭市企画財政部長からは、室蘭市におけるコンパクトなまちづくり―課題解決先進地への挑戦―、最後に伊木米子市長からは、歩いて楽しいまちづくり～公共交通と歩行者中心の持続可能なまち～のディスカッションを聞かせて頂いた。

【 所 見 】

まずは埼玉大学の内田教授から、初日にも出てきておりましたウォークブルのお話がありました。歩きやすい、歩きたくなる、歩くのが楽しいとのコンセプトで、車中心のまちづくりから人中心の空間への転換が大事であるとの内容で、最後の方に、楽しさに「公共性」があるという考えがまちづくりには必ず必要だとの内容に強く共感致しました。

宇都宮市のライトラインに触れたお話も各パネリストの方々もされており、例えば山下主宰からは、高度成長期にはなるべく早く遠くへと最速を求めていた過去から変わって、その移動自体を楽しむという考え方に方向転換していかうとのお話であったり、伊木米子市長からは、歩行者中心のまちづくりの中で、市民の方から700mを歩かせるのかとのクレームがあったことや、300mを歩くのがいやだという市民の方もいる。その中でまちづくりの施策に楽しいという要素を含める事に重点を置いて進めているとのお話もありました。吉田社長からは、公共交通の持続性の話の中で、地方に行けば行くほど官民連携して利益が無くても、社会に必要な路線への対応が重要であるが、これからは補助ではなく、委託になっていくとのお話は大変興味深く、国としても考えて頂いている内容でもっと議論して頂きたい内容でした。

今回、宇都宮市で会議に出席させて頂き、先進成功事例として、紹介できるのがありがたいと伊木米子市長がおっしゃっていた通り、様々な取組を本市としても勉強し、参考にしながら泉大津市をもっと住みやすい街にするために、議員としてできる事をしっかりと進めていく決意です。